

第4回埼玉県少子化対策協議会 議事録

日時：平成30年11月15日（木）

10時00分～12時00分

場所：発達障害総合支援センター

1 開会

2 あいさつ（福祉部少子化対策局 小池局長）

- ・ 本日の協議会では、子供の貧困の関係として、貧困実態調査の中間報告についてのご説明をさせていただき、行政機関だけでなく民間や地域も連携して県全体として取り組んでいければと考えている。
- ・ 次年度から策定予定の次期子育て応援行動計画について、スケジュール案をお示しさせていただく。
- ・ また、午前中の後半では、蕨市様、戸田市様、パーソルテンプスタッフ様から事例発表をしていただく。また、先進事例として、AsMama様から「子育てシェア」について御紹介をいただく。
- ・ このほかにも各市町村様での優良事例等あれば、そういった成功例を発表し、共有していく場としたい。今後ともよろしくお願ひしたい。

3 議題等

（1）子供の貧困について

資料1-1について、夏目少子政策課主幹から説明。

- ・ 「子どもの生活に関する調査」の中間報告をさせていただく。最終報告は平成31年3月の予定である。
- ・ 概ね市町村の皆様が感じているような、結果が出ているかと思う。生活困難層の世帯の子供たちは自己肯定感・将来への希望が低い傾向にあるなど、経済的困難により子供が自信や希望を持ってない状況が推察された。

資料1-2、1-3について内田福祉部企画幹から説明。

- ・ こども応援ネットワーク埼玉は、貧困の連鎖の解消に向け社会全体で取り組む機運の醸成や県民の社会貢献活動の促進を目的として設立の準備をしている。
- ・ 市町村の皆様には、地域の企業への声かけをしていただき、想いを持った方の手助けをしていただきたい。また、市町村様は日々の業務の中で子どもの貧困に対する支援活動はしていると認識しており、発起人、会員としての登録をお願いしたい。

（2）次期子ども・子育て支援事業計画について

資料2について、柳田少子政策課主幹から説明。

- ・ 県計画は、市町村計画の数値の積み上げを数値とするため、市町村の皆様と連携を図ってまいりたいので、ご協力をお願いしたい。

（3）多子世帯応援クーポン事業について

資料3について、柳田少子政策課主幹から説明。

- ・ 今年度については、市町村の皆様のご協力もあり、昨年度と比べて申請率は高い水準で推移している。今後ともご協力をお願いしたい。
- ・ 利用者アンケートの意見から、平成31年度からスマートフォン等での電子申請の実施、チケット登録事業者の増加に取り組んでいく。
- ・ 補助事業については、平成31年度より新規事業または既存事業の拡充のみを対象とする。

(4) 平成30年度事業の実施状況

○希望時期入園制度

資料4-1について、柳田少子政策課主幹から説明。

資料4-2について、福田蕨市児童福祉課長から説明。

- ・ 平成30年4月から制度を導入しているが、利用者からは「4月に無理やり入園させることなく子供が1歳になるまで育休が取れることがうれしい」、保育所からは「保育士不足の折、0歳児クラスの担任が他のクラスの応援に行けるのはありがたい」との良い意見が多い。

○SAITAMA保育人材開拓事業

資料5-1～5-2、5-7について、渡邊少子政策課主幹から説明。

資料5-3～5-6について、パーソルテンプスタッフ株式会社山口氏から説明。

- ・ SAITAMA保育人材開拓事業では、多様な保育人材の掘り起こしと、アドバイザーによる保育現場の働き方改革を推進している。保育所を訪問する中で、各市町村の御協力をいただいているところで受け入れをいただいているところが多い。今後とも御協力をお願いしたい。

(5) 第4回待機児童対策協議会（11/8実施）の報告

資料6について、安藤少子政策課主幹から説明。

- ・ 平成30年度の整備計画の進捗が思わしくないという声が聞こえてきている。県の目標である平成31年度末で待機児童解消について危機感を抱いている。個別に市町村へヒアリングさせていただいたが、今年度最後の保育所等の整備計画について照会させていただく。待機児童解消への対応を踏まえた回答をお願いしたい。

4 その他情報提供

- ・ 幼児教育・保育の無償化
- ・ 保育補助者雇上貸付事業の事例紹介
- ・ 蕨市・戸田市「保育士等の優先入所に関する協定」事例紹介
- ・ 官民連携による子育て共助コミュニティの創出事例紹介（株）AsMama

5 閉会

【3（1）の質疑応答】

春日部市：こども応援ネットワーク埼玉について、会費について無料とあるが、今後も無料ということでしょうか。

県：会費は永年無料である。

春日部市：発起人、会員として登録した場合、今後活動の中で市町村が費用を負担するようなことはあるか。

県：この活動の趣旨は機運醸成であり、市町村、企業ともに会費等を徴取することは考えていない。ただし、市町村ホームページ等でこども応援ネットワークの活動のPRをいただくなど、できる範囲での協力をしていただければ幸いである。

三郷市：NPO団体はネットワークに参加することは可能か。

県：発起人については市町村のみとさせていただくが、会員については団体でも個人でも登録可能としている。ぜひお声がけしていただきたい。

三郷市：フードパントリー見学会について、NPO団体の参加は可能か。

県：団体も個人も参加可能。

所沢市：ネットワークの発起人の中に「スペシャルサポーター」とあるが、どのような役割を担う方なのか。

県：学識経験者等で構成されており、各分野への影響力のある「インフルエンサー」として埼玉県を取組を応援いただくこととしている。

【3（4）希望時期入園制度の質疑応答】

志木市：公立保育所5園のみで導入とのことだが、民間保育所での導入は検討しているのか。

蕨市：民間保育所の園長会議にも出席して制度の紹介はしているところだが、委託料が減額になり、収入がマイナスになってしまう、ということへの不安があるようで特段申込はない。

三郷市：希望時期入園制度は私立園のみを対象としたものなのか。

県：公立園も対象である。

三郷市：希望時期入園制度を利用した場合、定員に満たない状況が生まれるわけだが、その場合「安心元気保育サービス支援事業」の中の途中入所促進事業は適用になるのか。

県：国から、別事業の補助と重複して受けることはできないとの見解が示されている。

鳩山町：町内には私立園しかないが、平成31年度からこの制度を導入する予定である。4月から導入予定だが、100%近くの利用率になる見込みなので弾力化の中で対応していく予定。